

令和4年度 指定管理施設の管理運営状況(年間)モニタリング評価表

1 施設概要

施設の名称	浦添市立宮城ヶ原児童センター
指定管理者名	特定非営利活動法人 シンコペーション
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和6年3月31日

2 利用状況

利用月	利用者目標数	利用者数	利用率%
4月～9月	6,000	7,761	129.35
10月～3月	8,200	8,065	98.35
合計	14,200	15,826	111.45

3 収支の状況

	予算額	実績額	差額
収入			
指定管理料	13,768,800	13,768,800	0
利用料金	150,000	96,500	53,500
寄付金	0	10,000	-10,000
受取利息	0	26	-26
収入合計(A)	13,918,800	13,875,326	43,474
支出			
人件費	9,926,250	10,978,952	-1,052,702
外部委託費	600,000	451,100	148,900
その他経費	2,455,470	2,310,242	145,228
支出合計(B)	12,981,720	13,740,294	-758,574
収支合計(A)-B)	—	135,032	—

4 精算額 135,032 円

※中間では記載しない。

5 自主事業

事業名	内容	利用者数
子ども食堂レッツクッキング	2015年から開始した「子ども食堂」は困窮世帯のこどものみならず、コロナ禍・物価高騰の影響を受けた世帯の支援として必要とされている。行政・学校とも連携して実施、軽食の配布や食育を行っている。	11,195
音楽での支援活動「ムジカバンピーネ」	「文化的貧困」からの脱却と負の連鎖を断ち切る為「自己肯定感を上げ生きる力を育む」為の芸術活動。ソニー音楽財団こども音楽基金の採択事業として実施。2023年1月にはたこホールにて成果発表会を開催した。(7年目)	2,523
リズムジャンプ	自法人メンバーによる子どもたちの体力・メンタル支援事業。乳幼児親子世帯支援、中学生のメンタル相談業務にも繋げている。(2年目)	105
ダンスクラス	プロダンサーによる地域の子どもたちの為のダンスクラス。保護者の参観も多く、自センターの課題(児童館特有の保護者層を巻き込むことへのハードルの高さ)解決にも取り組んでいる。(7年継続事業)	414
子ども食堂ネットワーク「ユニゾンハーツ」	市内児童館を含めた居場所の横つながりを広めるためのネットワーク構築事業。市内4児童館の連携により立ち上げ、自法人が事務局を担っている。県社協、県内外企業団体からの支援を受けファンドレイジングにも取り組んでいる。	688
合計		14,237

6 指定管理者の分析(サービス向上の取組等)

<p>(1) 指定管理者としてお預かりしている施設と財源を最大限に有効活用すべく、ハード・ソフト両面において事業に取り組んでいる。コロナ感染症の影響、それ以前に発生していた地域の課題解決の為、日常の行事をはじめ子ども食堂や音楽でのこども支援を通して地域の子どもたちの健全育成に寄与している。児童館としての役割を認識し、出来る支援から繋ぐ支援(学校・行政)に取り組んでいる。</p> <p>(2) 令和4年度からは「子育て支援事業スマイル広場」の取り組みを開始し、保育所・こども園など近隣施設からの協力を仰ぎながら独自の親子支援プログラムを展開。切れ目のないこども・子育て支援に努力している。</p> <p>(3) 当センターの課題でもあった「中学生と夜間開放時の利用者増加への取り組み」について、不登校生徒の放課後受け入れや学習支援、大学生スタッフによる細かなケアなど、全職員一丸となって取り組んだことが功を奏し、中学生利用者が増加している(前年度比1.76倍)。ユース世代の育成まではまだまだ時間がかかるが、児童館ガイドラインに則りヤングアダルト世代の育成とサービス提供に努力していく。</p> <p>(4) 施設建物の経年劣化に伴う修繕に取り組んでいる。当年においては建物外周LED電灯設置、看板新調、プレイルーム入り口補修工事など管理料内での対応を行った。安全安心を利用者に提供できた。</p> <p>(5) 人材育成としては新規採用職員の厚生員資格取得のための研修受講サポート、県内外におけるこどもの居場所関連研修会への参画を積極的に取り組み、全スタッフが児童館に於いて実施できるこども支援について立案実施している。また、市内児童全職員間の連携(横つながり)を常に意識し、福利厚生担当センターとして職員送別会(オンライン)の取り組みや、食支援を通じた情報交換など顔の見える関係構築を行っている。</p> <p>(6) 前記の効果もあり、当法人代表が県内外子どもの居場所関連事業への登壇や講演依頼、行政各会議委員としての役目を担うことにより自団体のみならず、浦添市内全居場所を全国に広報役として活動させていただいている。</p> <p>(7) 指定管理を受託させて頂いて得ることのできた行政・地域・学校・企業との協働関係を大切に、4年目も利他の精神で取り組んで参ります。</p>
--

7 項目別評価表

市評価年月日 令和5年7月5日

指定管理者と市が評価する。(4:優良 3:適正 2課題含 1要改善)

施設の状況により、項目内容は変更する場合がありますが、25項目数は変更しない。

項目	維持管理に関すること(年2回以上) 【適正性】	自主評価	市評価
①	法令等を遵守しているか。	4	4.0
②	労働環境は適正か。	4	4.0
③	収入・支出の取扱は適正か。	4	4.0
④	年間事業計画のとおり業務を遂行しているか。	4	4.0
⑤	開館時間、休館等は適正か。	4	4.0
⑥	利用者の個人情報保護は適正か。	4	4.0
⑦	日常の事故防止、安全対策は適正か。	4	4.0
⑧	日常の清掃は適正か。	4	4.0
⑨	防犯・警備業務は適正か。	4	4.0
⑩	備品の管理は適正か。	4	4.0
⑪	施設の維持管理(修繕)は適正か。	4	4.0
⑫	危機管理体制(緊急時対応)は適正か。	4	4.0
⑬	施設の使用許可、使用料の減免は適正か。	4	4.0
⑭	利用者に対する接客や職員態度は適正か。	4	4.0
⑮	施設の維持管理に係る人員は適正か。	4	4.0
⑯	施設の定期保守点検は適切か。	4	4.0
16項目	小計	64	64

点数を記載する。

項目	経営等事務処理に関すること(年1回以上) 【効率性】	自主評価	市評価
①	適正な経理事務であるか。	4	4.0
②	省エネルギー等環境配慮に努めているか。	4	4.0
③	支出の減少を図る取組を行っているか。	4	4.0
④	職員の資質・能力の向上を図る取組をしたか。	4	4.0
4項目	小計	16	16
項目	【有効性】	自主評価	市評価
①	施設の設置目的が十分に達成できたか。	4	4.0
②	利用者の意見を把握するしくみが確立しているか。	4	4.0
③	協定は遵守しているか。	4	4.0
④	利用者の満足度はどうか。	4	4.0
⑤	地域のため貢献しているか。	4	4.0
5項目	小計	20	20
25項目	合計	100	100

8 評価基準

(前ページの25項目(年間)合計を100点満点とする。)

	評価点	評価内容
項目別評価	4	法令等を遵守し、計画された業務水準を超える指定管理者独自の取組を実施するなど、特に優れている。
	3	法令等を遵守し、適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準のとおり成果を上げている。
	2	法令等を遵守しているが、指定管理業務の一部に課題がある。
	1	法令等を遵守しておらず、改善の必要がある。又は年間を通じ計画された業務の水準を達成できなかった。

ここでの「法令等」とは、法令、条例、規則、協定書、仕様書、事業計画書等をいう。

	評価		評価内容
総合評価	A	優良	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ90点以上である。中間評価の場合は、53点以上とする。
	B	適正	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ75点以上90点未満である。中間評価の場合は、45点以上53点未満とする。
	C	課題含	市の項目別評価に2点が1つでもある。
	D	要改善	市の項目別評価に1点が1つでもある。

9 市の総合評価

評価	評価コメント
A	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年から指摘したものはすべて対応されている。 • 避難経路のイラスト図について施設の向きに合った図が直したほうがよい。(万が一のときにこのイラスト図では向きが逆になっており見づらい。) • 施設内をLED化したためとても明るくきれいになっている。 • 関係者での4者会議を設けるなどしており、情報共有がとれている。